

2024年8月9日

各位

株式会社北洋銀行
株式会社北海道共創パートナーズ

北洋銀行グループである北海道共創パートナーズが NEDOの「大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業」に採択されました ～北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク(HSFC)と連携し、 北海道の大学発スタートアップの量産を目指します～



北洋銀行グループである北海道共創パートナーズ(本社:北海道札幌市 代表取締役社長 岩崎俊一郎 以下「HKP」)は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」)が公募する2024年度「大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業(Management Personnel Matching program:以下「MPM」)」の実施予定事業者として採択されましたのでお知らせいたします。

本事業は北海道内にある大学等の研究機関から新たな「研究開発型スタートアップ」を創出・育成するプラットフォームである北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク(Hokkaido Startup Future Creation Development by Mutual Support Networks(略称:HSFC=エイチフォース))と連携しながら推進します。

記

■NEDOのプレスリリース

2024年度「大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業(MPM)」に係る実施体制決定について
(https://www.nedo.go.jp/koubo/CA3_100450.html)

■MPMの事業概要

MPMは、自らが起業またはスタートアップの経営者として参画することを志向する人材を発掘し、大学等の技術シーズ・大学発スタートアップとのマッチング等を実施することで、大学発スタートアップの経営人材獲得ルートを多様化し、その創出・成長を目指します。

■背景・目的

政府のスタートアップ育成5カ年計画が進行中であり、北海道においても機運の高まりから、産官学金のALL北海道で積極的にスタートアップ支援に取り組んでおります。HKPは北海道経済の発展のためにはスタートアップの量産は不可欠であると考え、中でもグローバルに展開できる可能性を秘めている大学発スタートアップのような「研究開発型スタートアップ」への積極的な支援が必要だと考えております。

一方で、大学においては研究シーズを社会実装させたい研究者はいるものの、事業化ができる経営人材が圧倒的に不足をしているという課題があり、HKPはこれまで培ってきた経営人材マッチングのノウハウを活用し、北海道の大学の研究シーズと経営人材をマッチングさせることで、大学発スタートアップの経営人材確保支援、およびその後の事業化に向けた伴走支援に取り組んでまいります。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

■株式会社北洋銀行について (<https://www.hokuyobank.co.jp/>)

社会課題の解決に貢献するスタートアップの発掘、育成に努め、資金面の支援に加え、産学官金で連携したオール北海道でのスタートアップ支援の取組みにも積極的に参画。北洋 SDGs 推進 2 号ファンドによる出資、「北洋スタートアップローン」による融資等を展開している。

■株式会社北海道共創パートナーズについて (<https://www.h-kyoso.co.jp/>)

2015 年 9 月に北海道経済の活性化のために北洋銀行と日本人材機構の共同出資で設立。2020 年 4 月に日本人材機構の解散に伴って北洋銀行の 100%子会社となる。「伴走型支援の実現」を事業理念に掲げ、経営コンサルティング、人材コンサルティング、事業承継コンサルティング、補助金コンサルティングを展開。

■HSFC について (<https://hsfc.jp/>)

北海道内にある大学等の研究機関から新たな「研究開発型スタートアップ」を創出・育成し、地域の経済活性化を図ることを目指す、創業支援プラットフォーム。道内広域に点在する大学と高等専門学校・自治体・金融機関などがネットワークを結び、研究シーズの発掘から、起業と事業拡大に必要な情報・資金・環境などを一貫してサポートしている。

以 上